



県南地方の農林業



平成24年9月

清らかな源流を生かし、次代につなぐ県南の農林業



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.



1 県南地方の概要

(1) 地勢

県南地方は、首都圏から東北圏への入口に当たる福島県の最南端に位置し、栃木県・茨城県に接し、白河市をはじめとする1市4町4村からなり、その面積は1,233.24km²(西白河地方612.30km² 東白川地方620.94km²)で、県土の8.9%を占めています。

東部に阿武隈山系、西部に奥羽山系、南部に八溝山系があり、西白河地方を東に向かって流れる阿武隈川と東白川地方を南に向かって流れる久慈川の流域に沿って平野部が開けています。(第126回福島県統計年鑑)

(2) 気候

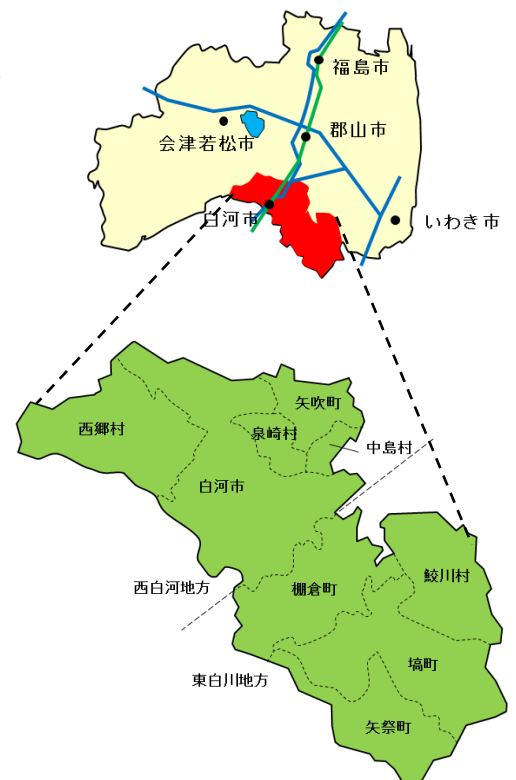
S56～H22の期間における管内の気候は、年平均降水量が白河1,410.9mm、東白川1,421.6mmとなっており、福島1,166.0mm、若松1,213.3mmと比べて降水量の多い地域となっています。

また、年平均気温は白河、東白川共に11.5℃となっており、福島13.0℃より低く、若松11.7℃と同程度となっています。(気象庁HP気象統計情報)

(3) 人口

管内の人口は、H24.9.1現在、147,099人(49,894世帯)で、県人口の7.5%(世帯数で7.0%)を占めており、その内訳を見ると、西白河地方が76.7%(同78.4%)、東白川地方が23.3%(同21.6%)を占めています。

また、H23.3.1と比較すると人口2,595人の減で、減少率は1.7%となっており、県の減少率3.0%と比べ低位となっていますが、3月1日時点の人口を比較すると、H23からH24の1,687人減(減少率1.1%)は、H22からH23までの802人減(減少率0.5%)と比較すると大きな値となっています。(福島県HP福島県の推計人口)



2 平成23年東北地方太平洋沖地震の概要

(1) 地震の概要

H23.3.11、三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0の地震が発生しました。

管内の市町村別最大震度は白河市で県内最大規模の震度6強、西郷村・中島村・矢吹町・棚倉町で震度6弱、泉崎村・矢祭町で震度5強、埴町・鮫川村で震度5弱が観測されました。また、同年4.11に発生した福島県を震源とするマグニチュード 7.0の余震では、中島村で震度6弱、白河市・棚倉町で震度5強が観測されました。

(2) 被害の概要

本地震により発生した津波や建物倒壊等により県内の死者・行方不明者は2,912人、住宅の全半壊は91,860棟と甚大な被害を受けました。

内陸部の管内においても白河市葉ノ木平地区で発生した地滑りをはじめ、地震による揺れによって死者15名、住宅の全半壊4,722棟の被害が発生しました。

また、各種ライフラインや農林業施設へも多大な被害が発生し、白河矢吹地区ではパイプラインの破損により2,800haの農地で営農が困難になりました。

(福島県災害対策本部 被害状況速報(第729報))

(東北農政局HP 東北農政局における復旧・復興支援情報)

3 農業・農村・森林林業の概況

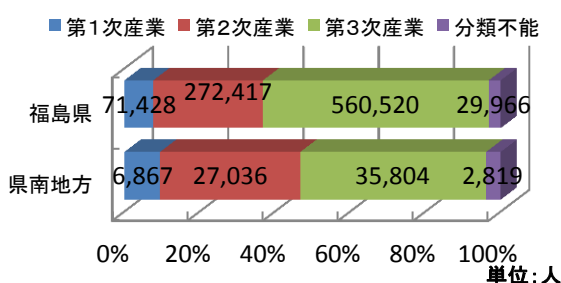
(1) 就業者構造

管内の就業者総数(15歳以上)は72,526人で、産業別の内訳は、第1次産業が9.5%、第2次産業が37.3%、第3次産業が49.4%をそれぞれ占めています。

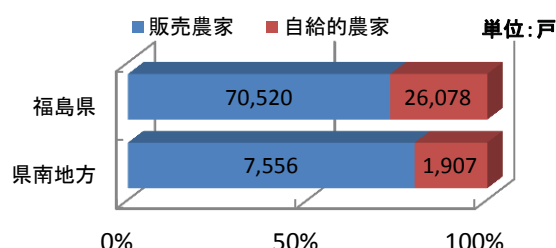
管内の第1次産業就業者の内訳を見ると、農業が94.2%、林業が5.5%、漁業が0.3%を占めています。

(H22国勢調査)

産業別就業構造(H22)



総農家数の構成割合(H22)



(2) 農林業経営体

管内の総農家数は9,463戸で県全体の9.8%を占め、内訳を見ると、販売農家が79.8%(7,556戸)、自給的農家が20.2%(1,907戸)となっています。

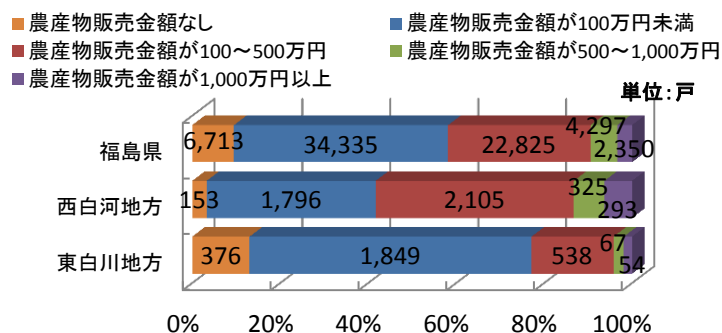
販売農家のうち農産物販売金額が100万円以上の農家の割合は県で41.8%、管内で44.8%ですが、特に、西白河地方では58.3%と大きな割合です。

販売金額500万円以上の農家の割合は、県の9.4%に対し、中島村21.8%、矢吹町23.3%となっており、この2町村が特に大きな値を示しています。

また、管内の林家数は、4,641戸で、県全体の10.9%を占めています。

(2010年世界農林業センサス)

農産物販売金額別販売農家数(H22)



(3) 耕地面積・森林面積

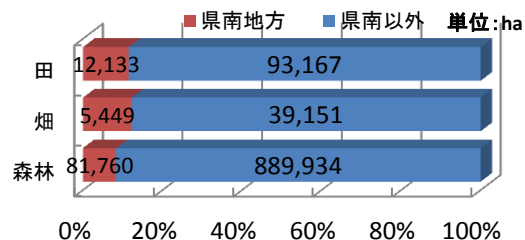
管内のH22年の耕地面積は17,582ha(田12,133ha、畑5,449ha)で、県全体の11.7%(田11.5%、畑12.2%)を占めています。

また、管内のH22年度の森林面積は81,760haで、県全体の8.4%を占めており、管内の総土地面積に占める森林の割合は県平均70.5%に対し、西白河地方では53.8%、東白川地方では78.7%となっています。

(第58次福島農林水産統計年報)

(H23福島県森林・林業統計書)

耕地・森林面積(H22年度)



(4) 農林水産業総生産額

管内のH21年度の農林水産業総生産額は168億3千万円、で、県全体の11.2%(農業11.5%、林業14.5%)を占めています。また、その内訳は農業が141億7千万円で84.2%、林業が24億1千万円で14.3%となっています。

(福島県市町村民経済計算年報 H21年度版)

(5) 農産物の生産状況

管内における主要農作物は米をはじめ、トマト、レタス、ブロッコリー、しゅんぎくなどです。

管内の農作物の作付面積は、米が9,802ha (H22)、野菜が762ha (H22販売目的のみ)となっており、夏秋トマトは101ha(H22)となっています。

県全体に占める割合で見ると、米12.2%、野菜14.8%となっており、夏秋トマトは県内野菜指定産地の23.6%を占めています。

管内におけるH22のトマト、レタス、ブロッコリー、しゅんぎくを販売目的で作付けした経営体数は、トマトが547、レタスが162、ブロッコリー473、しゅんぎく204となっており、県全体に占める割合で見ると、トマトが10.1%、レタスが12.1%、ブロッコリー15.7%、しゅんぎく12.7%となっています。

H22における管内の米、夏秋トマトの収穫量は、米が53,850t、夏秋トマトが6,440tとなっており、米の県全体に占める割合は12.1%、夏秋トマトは県内野菜指定産地の28.1%を占めています。

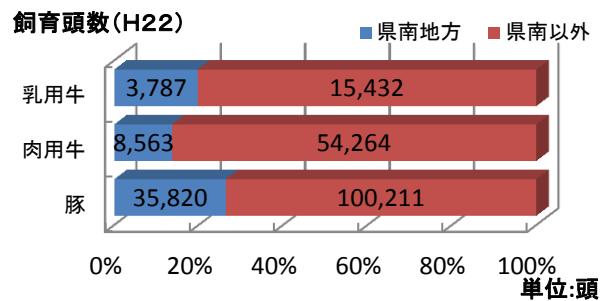
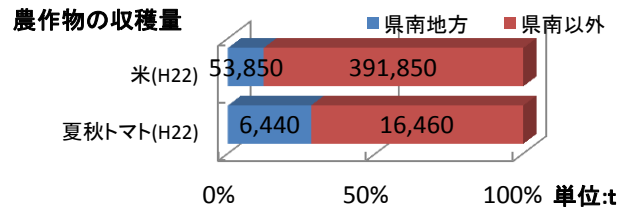
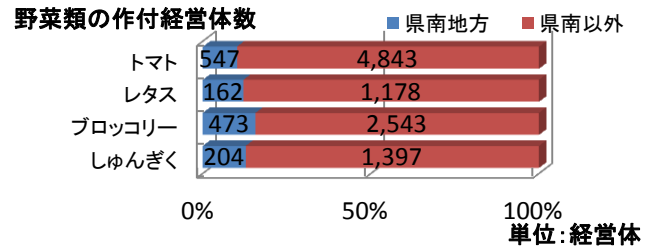
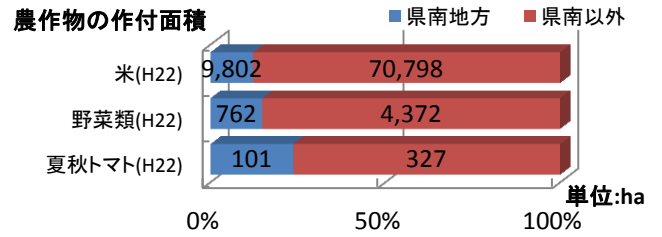
また、夏秋トマトの収穫量は白河市が県内で2位、矢吹町が4位、中島村が5位となっています。

H22の管内の乳用牛、肉用牛、豚の飼養頭数は、乳用牛が3,787頭、肉用牛が8,563頭、豚が35,820頭となっており、県全体に占める割合で見ると乳用牛19.7%、肉用牛13.6%、豚26.3%となっています。また、乳用牛の飼養頭数は西郷村が県内で3位の飼養頭数で、豚の飼養頭数は塙町が県内で4位の飼養頭数となっています。

管内のH21の素材生産量は154千m³であり、県全体に占める割合は19.5%となっています。

H22の木炭・生しいたけの生産量は、木炭が303,800kg、生しいたけが1,145tとなっており、木炭は鮫川村が、生しいたけは白河市が県内で1位の生産量となっています。

(第58次福島農林水産統計年報、H23福島県森林・林業統計書、2010年世界農林業センサス)



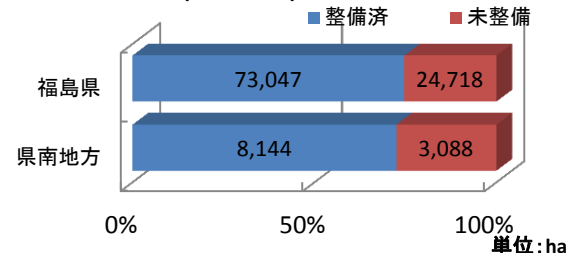
(6) ほ場整備の状況

管内の耕地面積のうち、H23年度末までの水田整備面積は、8,144.0haとなっています。

整備率は72.5%となっており、県平均の74.7%を若干下回っています。

(「福島県のほ場整備率」:福島県農村基盤整備課)

ほ場整備の状況(H23年度)

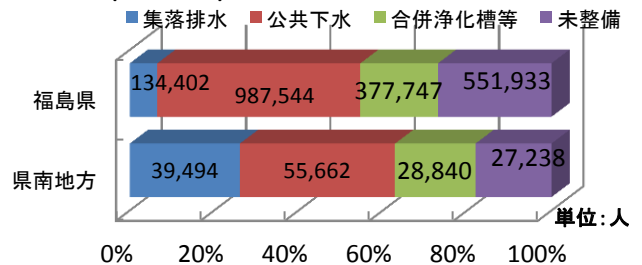


(7) 農業集落排水処理施設の整備状況

管内ではいち早く農業集落排水処理施設の整備に取り組んでおり、H21年度末の公共下水等を含めた污水处理施設等の普及率は82.0% (うち、農集排26.1%)となっており、県平均の73.1% (うち、農集排6.6%)を大きく上回っています。

(福島県統計年鑑2012)

処理人口(H21年度)



(8) 林道の整備・保安林の指定状況

管内におけるH22年度末の林道延長は379,945mで、林道密度は7.68m/haとなっており、県平均の林道密度7.24m/haを上回っています。なかでも、東白川郡については10.83m/haと県内で最も高い林道密度となっており、素材生産に大きく貢献しています。

また、管内におけるH22年度の保安林面積は4,307haで、S55年度の保安林面積(2,286ha)の188%にまで伸びており、安全・安心な暮らしの実現を図るため、計画的な保安林の指定と保安林内の森林の維持造成さらには計画的な治山事業を実施しています。

(H23福島県森林・林業統計書)

県南農林事務所組織体制図

所長

電話:0248-23-1570

次長

電話:0248-23-1571

総務部

soumu.af03@pref.fukushima.lg.jp
電話:0248-23-1572
FAX:0248-23-1590

総務課

庶務・経理等

企画部

kikaku.af03@pref.fukushima.lg.jp
電話:0248-23-1577
FAX:0248-23-1590

地域農林企画課

農林業振興の企画・調整、管内農林業の情報提供、地域産業の6次化推進
地産地消、食育の推進

指導調整課

農業団体の指導検査
農地転用・農振除外等の許認可
JAS法に基づく食品表示

農業振興普及部

shinkouhukyu.af03@pref.fukushima.lg.jp
電話:0248-23-1561
FAX:0248-23-1559

農業振興課

農業経営基盤強化促進対策、農用地流動・利用集積等、農業構造の改善、
農業振興・奨励、米の生産調整の推進

地域農業推進課

集落営農の推進、中山間地域農業の推進、
農業金融、普及指導計画の進行管理等

経営支援課

農業担い手の育成
地域特性を生かした作物の産地化
環境にやさしい農業の支援等

園芸産地振興担当

園芸産地の振興

農村整備部

seibi.af03@pref.fukushima.lg.jp
電話:0248-23-1581
FAX:0248-23-1590

農地計画課

土地改良事業の法手続、土地改良財産の管理
及び処分、換地業務、調査計画、国土調査、
用地取得等

農村整備課

かんがい排水・ため池等整備、経営体育成基盤
整備、農業集落排水整備、農道整備、災害復
旧、地すべり対策等

森林林業部

sinrin.af03@pref.fukushima.lg.jp
電話:0247-33-2121(代表)
FAX:0247-33-6949

林業課

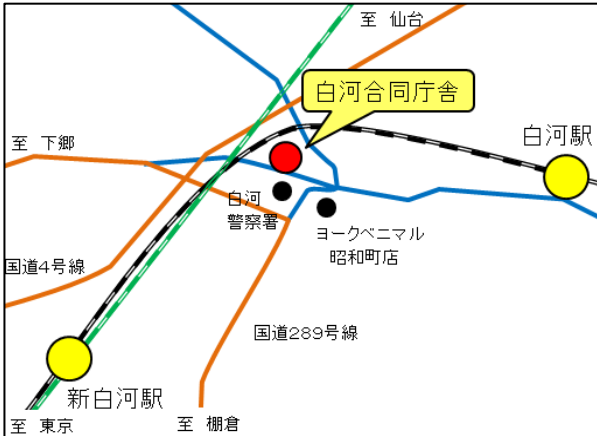
林業技術の普及、林業団体の強化育成、
林業後継者育成、緑化の啓発、森林病害虫の防
除、山火事防止、きのこの生産振興等

森林土木課

山地災害の防止と復旧、保安林等の保全、
森林の開発規制、林道整備等

【所在地】

総務部・企画部・農業振興普及部・農村整備部
〒961-0971 白河市昭和町269 番地



森林林業部

〒963-6123 東白川郡棚倉町大字関口字上志宝50-1



【ホームページ】

「県南農林」で検索してください。

【メールアドレス】

kennan.nourin@pref.fukushima.lg.jp

【編集発行】

福島県県南農林事務所
企画部 地域農林企画課
電話:0248-23-1577 FAX:0248-23-1590
〒961-0971
福島県白河市昭和町269 番地

【表紙写真】

